



世界農業遺産

清流長良川の鮎



岐阜県農政部里川振興課



世界農業遺産 (GIAHS)

Globally Important Agricultural Heritage Systems
(世界重要農業遺産システム)

世界農業遺産は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システム

国連食糧農業機関 (FAO) が、2002年提唱、2008年認定制度スタート



世界農業遺産「清流長良川の鮎」

岐阜県長良川上中流域

平成27年12月15日に
世界農業遺産に認定



長良川システム



森を育てる活動

森林の育成と水資源管理



森が蓄える長良川の清流

都市部を流れる川でありながら
日本三大清流と呼ばれる



日本有数の鮎

伝統漁法による食料の確保

長良川システム

人の生活、水環境、漁業資源が
連環する里川のシステム

川を守る活動

優れた景観と生態系の保全



森・川・海のつながりで育つ鮎

生物多様性と鮎資源の確保



鮎と水の文化

流域に伝わる文化と価値観



里川

里山



人が適正に関与することにより
生活領域の中を流れつつ、
生活水源・漁場・農業用水等の
経済的価値、及びレジャー・景観・
歴史・文化等の精神的な価値を
有し、かつ、生物多様性を保持
している河川

里川



里海



-長良川システム- 長良川の伝統的な鮎漁



友釣り



やな漁



鶉飼



瀬張り網漁

-長良川システム-川の恵みを活かす生活文化



きれいな水を守る生活



川を守る活動

-長良川システム-清流に育まれた伝統工芸



美濃和紙



岐阜提灯



関の刃物



郡上本染め

-長良川システム- 長良川流域の農産物



世界かんがい施設遺産
「曾代用水」



世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会

目的

「清流長良川の鮎」を象徴する
「長良川システム」を保全、継承していくことで、
農林水産業の振興、伝統漁法や文化の継承、
地域ぐるみの河川や環境の保全、
観光誘客などを推進

[構成員]

- ・岐阜県
- ・岐阜市
- ・関市
- ・美濃市
- ・郡上市
- ・長良川漁業対策協議会
- ・岐阜県農業協同組合中央会
- ・岐阜県森林組合連合会
- ・一般社団法人岐阜県観光連盟
- ・岐阜県商工会議所連合会



ロゴマーク

第2期 世界農業遺産活用計画

計画期間

2019年4月～2024年3月

理念

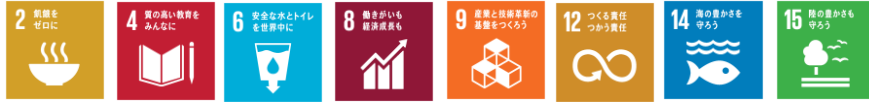
清流のシンボルである鮎を守り育て、
川と人が関わる伝統と文化を発展、継承させ、
優れた「長良川システム」を国内外へ広め、
社会の持続的な成長に貢献

すべての取り組み項目にSDGsのゴールを設定



農業遺産認定からの主な取り組み

農林水産業



「里川」における持続的な農林水産業の振興

- ・「岐阜県魚苗センター」の拡充
- ・人工ふ化放流事業、繁殖環境整備
- ・7月第4日曜日を「GIAHS鮎の日」に制定
- ・「清流長良川の鮎」ロゴマークの制定
- ・「清流長良川の恵みの逸品」の制定
- ・海外トップセールスでのプロモーション

伝統漁法、伝統文化



鮎を対象とした伝統漁法と、
鮎と水にまつわる伝統文化の継承

- ・伝統漁法、文化を守る後継者の育成
- ・「清流長良川あゆパーク」の運営

環境の維持、保全



「里川」における水環境、

生物多様性の維持、保全

- ・水源の森づくり、魚のための森づくり
- ・良質な水質の保全
- ・生物多様性の維持、保全

景観の保全、継承



「里川」における景観と

伝統的防災システムの保全・継承

- ・農村景観の保全、継承
- ・歴史ある町並みを保全、継承
- ・伝統的防災システムの保全、継承

情報発信



国内外に向けた長良川システムの発信

- ・世界農業遺産体感モデルツアー
- ・国内認定地域との連携PR
- ・民間団体によるPR活動
- ・「東南アジア漁業開発センター」との協力
- ・「内水面漁業研修センター」開設
- ・研修生受け入れ、研究員派遣による技術指導
- ・国際貢献活動の国内外でのPR

天然アユ資源と漁獲量の増加を目指して

岐阜県魚苗センター

種苗生産施設の増設



稚鮎の飼育（給餌）

親魚養成施設の新設



遡上鮎の採捕



稚鮎の出荷



親鮎の飼育

魚のための森づくり

森林が持つ多面的機能の確保や保全のための森林整備



森林組合による間伐事業



漁業協同組合による植樹

魚の繁殖を助長する魚つき保安林指定地域の拡大



魚つき保安林(郡上市白鳥町長滝地内)

・魚つき保安林面積

2021年
13.3ha



2013年
4.5ha

次世代育成のための体験学習施設

清流長良川あゆパーク

2018年6月2日オープン

- ・世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信拠点
- ・川や魚に親しむ体験学習施設



3年で
来場者55万人達成
(オープン1234日目)

体験者数 8万人以上



清流長良川あゆパーク

体験学習

3年で体験者数 8万人以上



魚のつかみ取り体験



釣り体験



投網による伝統漁法体験



食体験

地域住民の参画

7月第4日曜日はGIAHS鮎の日

2016年4月25日制定



鮎1000匹つかみ取り大会



稚鮎の放流

参加無料
LIVE講座

漁師の平工さんと作って！学んで！味わう！
オンラインキッチン親子料理教室
平工さんの獲った長良川の天然鮎2匹つき！

「鮎の日」にちなんで鮎料理をしてみませんか。長良川の漁師 平工さんとオンラインでつなぐ料理教室です。豊秋みに鮎を美味しく料理しながら長良川も豊かに過ごしてみよう。ここでは獲っていない鮎も販売しますが、みんなでレタス・クッキング！

7/25 (日) 10:00~12:00 鮎の蒸煮	7/25 (日) 14:30~16:30 鮎飯
	
甘辛い酱汁で仕上げた結核の蒸し料理。川魚にも刺しまれてきた鮎です。この鮎のおともがつつまひにも。	炊飯器で作るお手軽レシピ。鮎をまるごと炊き込みます。子どもから大人まで、みんなで楽しむ一品です。

オンライン鮎料理教室

地域住民の参画

清流長良川の鮎プレイヤーズ募集中

あなたの活動が世界農業遺産の
保全、活用、継承につながる!

長良川のシンボルである鮎や長良川に
育まれた自然、歴史、伝統文化等の発展を
指す活動に取り組む法人・団体

89団体が活動中 (R3.12時点)

- ・後継者育成
- ・鮎等の消費拡大
- ・特産物ブランド化
- ・観光地としての活用
- ・環境・景観維持
- ・伝統文化継承
- ・動植物保全
- ・学校教育等
- 等



河川清掃活動



鮎の友釣り体験指導

新たな付加価値の創出

清流長良川の恵みの逸品

長良川の恩恵を受け育まれた農林水産物や加工食品、
伝統工芸品など52品を認定



認定シール

長良川システム



森を育てる活動
森林の育成と水資源管理



森が蓄える長良川の清流
都市部を流れる川でありながら
日本三大清流と呼ばれる



日本有数の鮎
伝統漁法による食料の確保



川を守る活動
優れた景観と生態系の保全

長良川システム

人の生活、水環境、漁業資源が
連環する里川のシステム

森・川・海のつながりで育つ鮎
生物多様性と鮎資源の確保



鮎と水の文化
流域に伝わる文化と価値観

SDGsの理念を体現

Ayu of the Nagara River System



Thank you!

